

**製品名: ATF4 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM81816**

研究使用のみ

**概要**

|        |   |
|--------|---|
| 説明     | マウスモノクローナル抗体                                      |
| 宿主     | ねずみ   |
| 応用     | WB,IHC,ELISA                                      |
| 反応性    | 人間  |
| 標識     | 非共役   |
| 修飾     | 未修正   |
| アイソタイプ | Mouse IgG1  |
| クローン性  | モノクローナル   |
| 形態     | 液体  |
| 濃度     | 1mg/ml  |
| 保存     | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送     | 氷袋  |
| バッファー  | 0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体                       |
| 精製     | アフィニティー精製   |

**応用**

|      |   |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000 |
| 分子量  | 38.6kDa   |

**抗原情報**

|              |   |
|--------------|---|
| 遺伝子名         | ATF4  |
| 別名           | CREB2; TXREB; CREB-2; TAXREB67              |
| 遺伝子 ID       | 468.0                                       |
| SwissProt ID | P18848                                      |
| 免疫原          | 大腸菌で発現したヒト ATF4 (AA: 212-351) の精製された組み換え断片。 |

**背景**

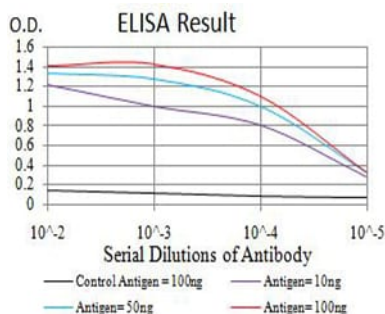
この遺伝子は、HTLV-1 の LTR にある tax 応答性エンハンサーエレメントに結合できる、広く発現している哺乳類 DNA 結合タンパク質として最初に同定された転写因子をコードしています。コードされているタンパク質は cAMP 応答エレメント結合タンパク質

2 (CREB-2) としても単離され、特徴付けられています。この遺伝子によってコードされているタンパク質は、AP-1ファミリーの転写因子、cAMP 応答エレメント結合タンパク質 (CREB)、および CREB 様タンパク質を含む DNA 結合タンパク質ファミリーに属しています。これらの転写因子は、DNA 結合ドメインとして機能する一連の塩基性アミノ酸の C 末端に位置し、タンパク質間相互作用に関与するロイシンジッパー領域を共有しています。同じタンパク質をコードする 2 つの代替転写産物が記載されています。2 つの擬遺伝子は、大きな逆位重複を含む領域の X 染色体 q28 に位置しています。

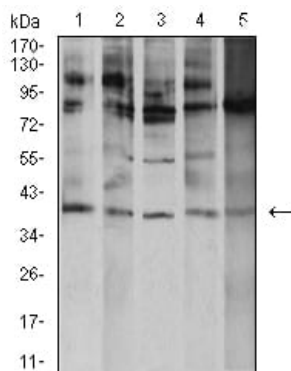
## 研究分野

PI3K-Akt シグナル伝達経路、MAPK シグナル伝達経路

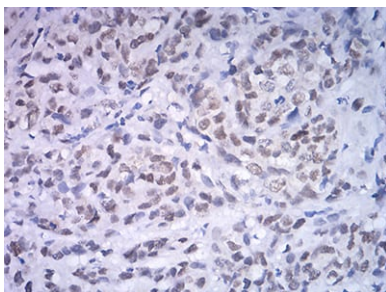
## 画像データ



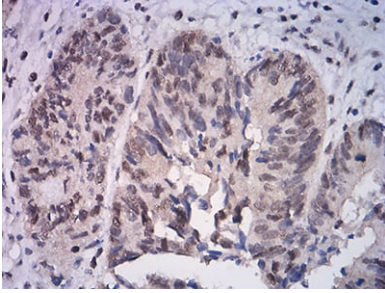
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



K562 (1)、A431 (2)、HeLa (3)、HEK293 (4)、および Ramos (5) 細胞溶解物に対する ATF4 マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



ATF4 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト乳がん組織の免疫組織化学分析。



ATF4 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト直腸癌組織の免疫組織化学分析。